

# 庁議の概要

開催日：H19.4.10

## 項目

- 1 県議会（議場）対応について【総務部】
- 2 国の制度の情報収集と導入について【政策企画部】
- 3 高規格道路等の供用予定について【土木部】
- 4 県議会議員選挙の結果について（報告）【政策企画部】

## 内容

- 1 県議会（議場）対応について【総務部】

平成19年4月5日開催の政策調整会議の結果を受けて、庁議で検討することとなった県議会（議場）対応について、平成19年度（案）と平成18年度の県議会議場配席図（執行部席）を配布のうえ、提案説明を行った後に意見交換を実施。その結果、平成19年度は提案どおりの議場対応とすることに内定した。今後の対応としては、4月20日に予定されている県議会最初の各派代表者会で了承をもらう予定であることを説明。

### 【説明概要】

- ・ 勤務時間の有効活用や席が窮屈な状況などから、原則、議場連絡員である副部長等については、質問が出ている時若しくは関連質問が出そうな時のみ出席とする。勉強のため出席したいという方は、もちろん自由に出席してもらってよい。出入り（移動）は、質問の合間にお願ひし、副部長等の席は従来のように指定席とはしない。部局長等の近くの席に前側から着席してもらうことになる。よって、現在ある副部長等席を一部撤去することとなる。開会時等は、執行部側の出席者が少なくなることを予想されるので、この点については今後調整させてもらいたい。
- 2 国の制度の情報収集と導入について【政策企画部】

「魅力ある地域へのガイドマップ」施策集と「魅力ある地域へのガイドマップ」、地域活性化政策体系～「魅力ある地域」への変革に向けて～（計3種類）を配布のうえ、各部局での関係制度への取り組みや見直しに向けた提案の検討を促進するための説明等を行った後、意見交換を行った。

### 【説明概要】

- ・ 配布した資料の中には、「魅力ある地域へのガイドマップ」施策集にある農地・水・環境保全向上対策など、本県にとって魅力ある国の制度もある。まだまだ情報不足の点もあるが、各部局でこの資料を見てもらい、情報収集に努めてもらうとともに、良い制度については取り込みに向けたアタックを、また、本県で導入するために見直し、規制緩和等してもらいたい制度は、今年度の重要要望で提案してもらうなど、この資料を活用してもらいたい。重要要望は4月中の取りまとめを予定している。小さいものは各部局で直接提案要望を、大きなものは重要要望していくようにしてもらいたい。
- ・ 5月12日には高知新阪急ホテルで、県内の市町村長及び議長、各種団体に対して、この資料も活用した自由民主党の意見交換会が開催される予定である。県に対して、参加要請等があった場合には連絡をさせてもらうが、是非、市町村等の意見も聞けるので構わない範囲で参加してもらうとよい。

### 【主な意見】

- ・ 農地・水・環境保全向上対策については、すでに取り組みをはじめているが、化学肥料や化学合成農薬の使用低減に関する制限など少し条件の厳しいところもあるので、活用しやすいように緩和をして欲しいという提案もしている。
- ・ 国に対して見直し等の提案するのは、4～5月頃がもっともよい。特に今年は、参議選もあるのでよい。また、この資料の内容は、大まかなものとなっているので、詳細な点を把握するためには個別の情報収

集も必要である（副知事）。

- ・ 勉強のためにも、各部局でブレンスティングも兼ねて、この資料の内容については目を通しておくこと（知事）。

### 3 高規格道路等の供用予定について【土木部】

高規格道路等の供用予定図（平成 19 年 4 月 1 日現在）を配布のうえ、今後の供用予定の概要説明のうえ意見交換。

#### 【説明概要】

- ・ 高規格道路の進捗状況は、四国全体で約 59%、香川県が 100%、愛媛県が約 73%、徳島県が約 53%、高知県が約 34%という状況である。
- ・ 高知南国道路（五台山道路） 南国安芸道路、安芸道路、大山道路、北川奈半利道路、東洋北川道路、須崎道路、須崎新庄 IC～窪川 IC の新直轄区間、窪川佐賀道路、中村宿毛道路の順に、進捗状況及び予定について説明、ちなみに 8 の字道路関連の予算は平成 19 年度全体で 264 億円、この他高知西バイパスとか越知道路等の一般国道（直轄道路）は平成 19 年度約 415 億円が予定されている。また、直轄の波介川等の河川事業も予定されている。

#### 【主な意見】

- ・ 大方佐賀の国道（バイパス）の法線は決定したのか（知事）？  
まだ決定していない。
- ・ 平成 20 年度末までの高速道路の進捗見込みはどれくらいか？  
事業費ベースで考えても、平成 19 年度で 1%程度進捗するくらいではないだろうか。当面は 2 車線での供用開始を目指して整備されている。
- ・ 高知県の 34%の進捗率とは供用開始されている総延長ベースのことか（知事）？  
そのとおり。
- ・ 道路特定財源のオーバーフロー分を使った道路整備の中期計画へ県、市町村等の意見反映等はどうなっているのか？  
現在、各部局長に意見をもらいたくメールにてアンケートを依頼している。
- ・ 道路整備の中期計画は、十分な議論が必要。県庁内での議論も必要なので、各部局から意見を出してもらい、それを取りまとめるうえ企画会議で、県庁内の共通意識となるようにしてはどうか（知事）。
- ・ 道路の供用に合わせて必要となる交通安全施設整備についても、道路特定財源を使い方を変える時に道路整備に当然必要な費用として含めてもらうように提案するべきである。
- ・ 高規格道路の整備にあたっては、少ない予算の中で、大雨で通行止めになってしまうような難所となる箇所、空港を結ぶ道路などを重点に要望してもらい、確実に整備を進めて欲しい。  
工区の中でも渋滞するような箇所を重点的には取り組んでいる。
- ・ 費用対効果も含めた今後の道路整備の方向性をきっちり考えた高知県の道路「土佐の道ビジョン」という冊子があるので、この際、その冊子も各部局長に配布してはおいてはどうか。  
了解。

### 4 県議会議員選挙の結果について（報告）【政策企画部】

平成 19 年 4 月 8 日執行高知県議会議員選挙の開票結果について配布のうえ結果報告。投票率は前回より上がったが、依然低い状態なので、次の選挙に向けて啓発への協力をお願いするとともに、当面の県議会の日程等と今回市町村で起こったような選挙事務のミスが、今後、ないように取り組んでいく方針等について説明。